

消防団たずね歩き

長田消防団第8分団能登半島被災地研修

2025年9月に分団の消防団研修の一環として石川県能登町を訪問し、被災地視察や能登町消防団との意見交換会に参加しました。今回の研修を通じて、災害時における消防団の役割や地域防災の重要性について多くのことを学ぶことができました。

現地では、能登半島地震による被害の状況や復旧・復興の現状を視察しました。実際に被災した地域を見ることで、災害の規模の大きさと自然災害の恐ろしさを改めて実感しました。また、復興に向けて懸命に取り組む地域の方々の姿から、地域の絆や支え合いの大切さを感じました。

特に印象に残っているのは、能登町消防団との意見交換会です。地震発生直後の活動状況や住民の避難支援、安否確認、情報収集などについて直接お話を伺うことができました。道路の寸断や通信手段の不足など、厳しい状況の中でも地域住民のために活動された経験談は大変貴重であり、消防団員としての使命感と責任感の強さを感じました。

また、平時からの訓練や地域とのつながりが、災害時の迅速な対応につながるというお話は非常に参考になりました。消防団は単なる災害対応組織ではなく、地域住民との信頼関係を築きながら地域防災を支える重要な存在であることを改めて認識しました。

今回の研修を通じて得た知識や経験を今後

の消防団活動に生かし、地域住民の安全と安心を守るために努力してきたいと思います。

また、日頃の訓練や防災活動にも積極的に取り組み、災害に強い地域づくりに貢献していきたいと考えています。

最後に、このような貴重な研修の機会を設けていただいた関係者の皆様、そして貴重なお話を聞かせていただいた能登町消防団の皆様には心より感謝申し上げます。

(長田消防団第8分団 分団長 柴田 大輔)



地域に根付いた消防団を目指しています！